

ユニセフ 第47回 ハンド・イン・ハンド募金

HandinHand

今年のテーマ「すべての子どもに生きる希望を！」

1979年の国際児童年に始まった「ハンド・イン・ハンド」は、世界の子どもたちの幸せと明るい未来の実現を目指し、全国の市民が「手に手をとって」ボランティアとして参加するユニセフ募金活動。今年も世界各地で紛争や災害に苦しむ子どもたちへの支援を呼びかけます。参加の方法は以下の通りです。(写真は昨年の様子)

1 街頭募金に参加する

街頭募金のボランティアを募集します！

- | | |
|------------|--|
| 花巻市 | 2025年 12月13日(土)
・アルテマルカン桜台店 ・ビフレ花巻店
・シーナシーナ花巻 ・コープ花巻あうる |
| 盛岡市 | 2025年 12月14日(日)
・クロステラス盛岡 ・mossビル
・モナカ ・イオンモール盛岡南 |
| 二戸市 | 2025年 12月20日(土)
・ユニバース 荷渡店 |



2 校内(職場)募金に取り組む

募金箱やポスターを貸し出します

3 フレンドネーションに協力する

パソコンやスマホから協力できる募金。詳細は11月以降にホームページでお知らせします。

ユニセフユースボランティア募集！



ヨルダン出身のマラクさんをリーダーに、ユニセフについて学びながら、新しい視点をユニセフ活動に取り入れて活動するユースメンバーを募集しています。

現在、10人の仲間が集まりました

▲イベントでも活躍中 (写真はラブウォーク)！

ボランティア募集

募金活動や、イベントの運営を行なうボランティアを募集しています。一緒に活動しませんか？(活動のための交通費支給)



賛助会員募集 ～会員になって支えてください～

賛助会員制度は、日本国内で行うユニセフ募金活動や、広報活動、啓発活動などを会費によってご支援いただく方法です。「日本ユニセフ協会賛助会員」の会費の50%は、岩手県ユニセフ協会の活動に使われます。寄付金控除の対象となります。会員のみなさまにはニュースやイベント案内をお届けしています。賛助会員へのご入会をお願いいたします。



- | | |
|------------------|---------------|
| 一般会員 (個人ならどなたでも) | 1口 / 5,000円 |
| 学生会員 (18才以上の学生) | 1口 / 2,000円 |
| 団体会員 (団体・法人・企業) | 1口 / 100,000円 |

● 申込書をご希望の方には郵送いたします

集めています！

これらも募金になります

- ・使用済み切手
- ・書き損じはがき
- ・外国コイン



岩手県ユニセフ協会ニュース No.65

unicef

Iwate Association for UNICEF

2025年11月

【発行】

岩手県ユニセフ協会

〒020-0690
岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F
TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491
e-mail : sn.iunicef_iwate@todock.coop
ホームページ http://www.unicef-iwate.jp/

ユニセフ事務局長 ガザ停戦を歓迎

大規模な人道支援再開 とともに永続的な政治 解決を訴え

ユニセフは、ガザ地区における停戦が発表されたことを歓迎します。2年間にわたる凄惨な戦争に苦しんできたパレスチナの子どもたちに希望をもたらすものです。ユニセフは1,300台以上のトラックに、テント、栄養に関する物資、必要不可欠な医薬品やワクチン、学習・遊びのキット、そして水と衛生用品を積んで待機させています。現地には、子どもたちの人生をより良くするために尽力を続けるユニセフのスタッフとパートナーたちがいます。報告によれば、6万4,000人以上の子どもが死亡または負傷し、住宅、病院、学校が破壊されました。ガザ地区の一部では飢餓の発生が宣言されており、5歳未満の子ども全員、つまり32万人が急性栄養不良にさらされています。5万6,000人以上の子どもが片親または両親を失いました。すべての子どもがトラウマとなるような出来事を経験し、教育も大幅に中断されています。この停戦は、人道支援従事者が、ガザ地区内で切実に待たれていた大規模な支援を安全に届ける機会であればなりません。すべての子どもと家族のために、食料と栄養、ヘルスケア、保護サービス、心理社会的支援、安全な水と衛生に関する支援、教育、現金給付が提供され、商業トラック輸送の再開を行えることが望まれます。ガザへの検問所、特に北部の検問所は、人道支援や生活必需品、重要な物資の搬入のために即時に開放されるべきです。冬が近づく中、子どもたちと家族が厳しい気候や凍える寒さに備えるための必要な物資を受け取れるようにしなければなりません。

ユニセフは、この合意を契機として、関係者がパレスチナとイスラエルのすべての子どもの権利とウェルビーイングを保障する永続的な政治解決を図るよう強く求めます。この戦争は、すでにガザの子どもたちに多大な犠牲を強いてきました。回復への長い道のりを歩み始められるよう、彼らは今こそ、永続的で安定した平和の下で暮らすべきです。

ユニセフは、2年にわたって続いたこの悲惨な状況からガザの子どもたちが一日でも早く回復し、平和な日常に戻れるよう、全力を尽くしていきます。



▲停戦の発表を喜ぶガザの子どもたち (パレスチナ、2025年10月9日撮影)



▲13歳のマイサラさんは、次のように喜びました。「停戦の知らせを聞いた瞬間、本当に嬉しかったです。やっと北部にある私の街、ジャバリアに帰ることができます。早く普通の生活に戻りたいし、もっと嬉しいのは、全部の検問所が開いたら、もうお腹が空いて苦しいこともなくなります」「帰ったら、故郷の土を抱きしめたいです。ずっと帰りがたかったからです。戦争が終わったということは、また学校へ通えるということだからです」(パレスチナ、2025年10月9日撮影)

ユニセフ募金にご協力をお願いします

下記の口座については窓口の場合、
硬貨手数料・振込手数料ともにかかりません

《郵便局》(ゆうちょ銀行) 振替口座

振替口座：00190-5-31000

口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会

振込用紙をご希望の方は、
岩手県ユニセフ協会へご連絡ください。

TEL 019-687-4460 月～木 10:00～15:00

ユニセフ・シアター 歌声にのった少年

盛岡会場 7月19日(土) 岩手教育会館 多目的ホール 来場者66名
花巻会場 7月20日(日) まなび学園 AVルーム 来場者43名

ガザ地区で暮らす美しい声の少年ムハンマドの夢は「スターになって世界を変える」こと。数々の困難とガザの壁を越えてオーディション番組に出場し、勝ち抜いてゆく物語を上映。



後援 岩手県教育委員会 盛岡市教育委員会
花巻市教育委員会 滝沢市教育委員会

盛岡会場 募金額 **20,362円**

花巻会場 募金額 **15,817円**

寄せられた募金は、
ユニセフ「ガザ人道危機緊急募金」へ



参加者の感想より

- 美しい歌声がすてきにも悲しく聞こえました。
- ムハンマド君が優勝した時のガザの熱狂がすごかった。現在のガザの状況、打開できないものか。
- どうして戦争や難民が続くのか。夢に向かう子どもたちに平和が訪れるように願います。

出前講座

いわて生協・水沢学苑看護専門学校に出かけました！

いわて生協 花巻コープ 7月27日(日)
(大人7人 子ども8人)

ユニセフのDVD視聴や支援グッズに触れる体験を夏休みの自由研究の題材にする小学生もいました。



▲ユニセフの名前の説明

▲水がめ運び体験

参加者の感想

- 世界には食べる物にも困っている子どもがいることを知った。
- 私は昨日誕生日で家族に祝ってもらったのにDVD で見た子は、誕生日を知らなくて祝ってもらったこともないというのを知り、涙が止まらなかった。もっと世界のことを知らなくてはと思った。

水沢学苑看護専門学校 9月11日(木)
(1年生35名)

ユニセフのことや「子どもの権利条約」についてお話ししました。



ユニセフは「子どもの権利」の実現を目指して活動する国連機関です。「権利」を英語で言うと「Rights」(正しい)です。

学生さんの感想より

- 毎日8時間水くみに費やす子を知り、水のありがたさを思い知った。
- 「子どもの権利」を深く考えたことがなかったが、子どもは一人の人間として尊重されるべき存在という考え方であるとわかった。
- これまで「目の前の患者さんを支えたい」と看護師を志してきたが、看護は必ずしも病院の中だけで完結しないと気づいた。国際的な視点で看護師を目指したい。
- 自分も子どもたちを助けられるよう看護技術を学び、貢献したい。

ユニセフ講座

「ユニセフ」を学べる講座を開催しています。

ユニセフ講座part1「中東地域のことを学ぼう！」

9月20日(土)
奥羽キリスト教センター

奥羽キリスト教センター チャペルで、佐藤 敦士さん(県南青少年の家所長 県ユニセフ協会 花巻友の会会長 元中学校社会科教諭)とマラク・アブダヤさん(ヨルダン出身盛岡在住 ユニセフユースチームリーダー)のお二人を講師に開催。NPO法人善隣館さんに共催いただき、参加は41名。昨年から好評の講座第3弾も盛り上がりしました。



「中東」ってどの国のこと？



マラクさんと前田さんのトーク

感想より

- ☆複雑なパレスチナ問題を、クイズや絵本をまじえたわかりやすい説明で、あっという間でした。
- ☆ヨルダンの文化、生活、ラマダンなど興味深いトークでした。日本語もお上手でした。
- ☆異文化、歴史を知ることができて、有意義な時間でした。中東問題が平和に解決されることを望みます。

ユニセフ講座part2「子どもの権利条約」を学ぼう！

10月18日(土) 岩手自治会館
講師 田代高章さん(岩手大学教育学部教授)

ユニセフが目指している「子どもの権利の実現」。ユニセフの基盤となる「子どもの権利条約」とはそもそもどういうものなのかを岩手大学教育学部教授 田代高章さんを講師に学びました。1989年に誕生し、日本はその5年後に批准していますが、まだまだ知られていない「子どもの権利条約」について、難しい内容をわかりやすく説明していただきました。「あなたのため」として、子どもの意思を問わずに判断決定するのではなく、子どもとのやり取りを大切にすることで徐々に高めていくのが権利教育であり、権利を持っていることを認めていくために「子どもの権利条約」があると学びました。(岩手県自治会館にて21名が受講)



感想より

- ☆日本で「子どもの権利条約」の認知度が低いことがショックでした。学校現場でもっとこの条約が生かされてほしい。
- ☆「子どもの権利条約」の1～40条の詳しい内容を初めて知った。
- ☆日本の子どもたちは「同調圧力」を学んでしまうと聞き、ドキッとした。
- ☆自分の価値観は古いと思い知りました

ユニセフ寺子屋@花巻

10月4日(土)
来場者 約100名 募金額 12,260円

楽しみながらユニセフのことを知ってもらおうと、「ユニセフ寺子屋@花巻」が花巻友の会主催で開催されました。ステージでは、大谷幼稚園の園児の歌やダンス、クラウンシュガーこと佐藤会長の絵本や歌のコーナー、パネル展示のほかに、ユニセフが支援している国の国旗の塗り絵ブースや、マラクさんのタロット占いも大好評でした。



開会あいさつは、佐藤敦士会長とヨルダン出身のマラクさん



大谷幼稚園の園児のみなさん「手のひらを太陽に」などを熱唱



クラウンシュガー(佐藤会長)による歌